

S&P社による欧州各国の国債格下げについて

現地時間1月13日、米格付け会社のスタンダード・アンド・プアーズ(以下、S&P)は、フランスをはじめとするユーロ圏9カ国の国債格付けを1~2段階引き下げました。具体的には、フランスが「トリプルA」から「ダブルAプラス」と1段階引き下げられたほか、イタリアは「シングルA」から「トリプルBプラス」に、スペインは「ダブルAマイナス」から「シングルA」にそれぞれ2段階引き下げられました。また、トリプルAの格付けを維持した4カ国のうち、ドイツを除くオランダ、フィンランド、ルクセンブルクの3カ国に関しては、格付け見通しを「ネガティブ(弱含み)」としました。

S&Pは今回の格下げに関して、「ここ数週間に欧州の政策当局者が決めた政策イニシアチブでは、ユーロ圏で続いているシステミックな緊張に対応するのに不十分な可能性がある」との見解を示しました。今回の格下げについて、市場ではある程度予想されていたとの見方もありましたが、発表のあった米国での取引時間中に外国為替市場でユーロ安が進んだほか、米国株式市場も下落しました。

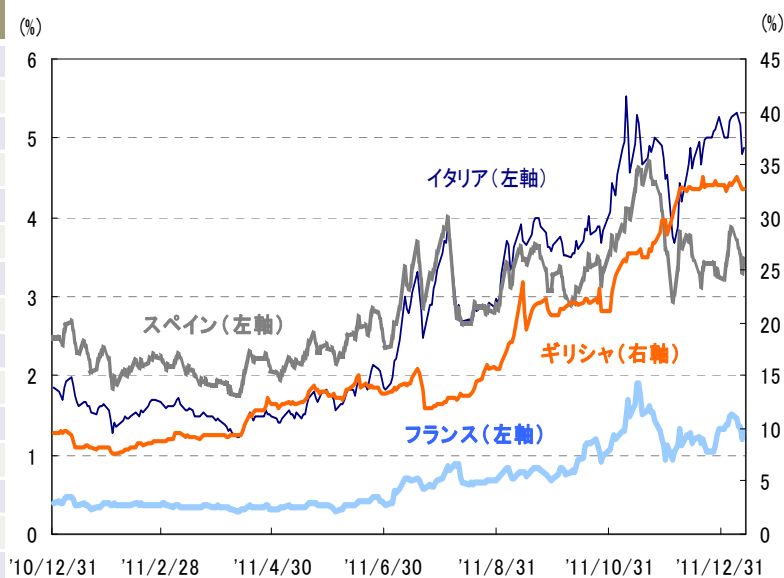
今後は、3月に償還を迎えるギリシャ国債の債務再編問題が注目されます。また、欧州債務問題解決に向けた重要な機関である欧州金融安定ファシリティ(ESFS)が発行する債券は、フランスを含めた欧州各国が保証しているため、その格付けの動向も焦点になると考えられます。

S&Pのユーロ圏各国の格付け

	変更後	変更前	格下げの段階数
ドイツ	AAA	AAA	0
フランス	AA+	AAA	1
オランダ	AAA	AAA	0
オーストリア	AA+	AAA	1
フィンランド	AAA	AAA	0
ルクセンブルク	AAA	AAA	0
イタリア	BBB+	A	2
ベルギー	AA	AA	0
スペイン	A	AA-	2
アイルランド	BBB+	BBB+	0
ポルトガル	BB	BBB-	2
ギリシャ	CC	CC	0
マルタ	A-	A	1
スロバキア	A	A+	1
スロベニア	A+	AA-	1
エストニア	AA-	AA-	0
キプロス	BB+	BBB	2

出所:ブルームバーグ

ドイツ国債と欧州各国国債利回り格差の推移



掲載グラフは2010年12月末から2012年1月13日まで
出所:ブルームバーグ

本資料は、アイエヌジー投信株式会社が情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。一般的または特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料記載の統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、アイエヌジー投信株式会社あるいはその関連会社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時における判断であり、予告なしに変更されることがあります。アイエヌジー投信株式会社とその関連会社等は、本資料の利用に起因する、いかなる直接・間接の損害にも責任を負いません。過去の成績は将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。